

子どもたちが児童館特別事業で

ダブルダッチに挑戦



12月9日、町民スポーツセンターで、児童館特別事業が開催され、34名の小学生と親子が参加しました。事業では、講師を務める日本ジャンプロープ連合北海道支部の皆さんによるダブルダッチ披露と子どもたちの体験が行われました。体験は一見難しそうでしたが、講師の指導により、子どもたちは楽しみながらダブルダッチを跳ぶことができました。

静内高校生が授業の一環で

新冠温泉PR動画を撮影



12月13日、静内高校1年次生が動画投稿アプリを使い、新冠温泉ホテルヒルズのPR動画撮影を行いました。これは情報授業の一環で、昨年度に引き続き2回目となります。生徒たちは各グループに分かれ、施設の魅力を伝える動画を撮影しました。動画は新冠温泉関係者によって審査され、優秀作品は「新冠温泉公式TikTok」で公開される予定です。

新冠小学校で高齢者疑似体験と車いす体験

12月19日、新冠小学校6年生の児童が福祉教育の一環として高齢者疑似体験と車いす体験を行いました。この体験は、町社会福祉協議会と役場保健福祉課の協力で行われ、高齢者疑似体験では、手足に重りや視界を悪くさせるゴーグルなどを身につけ、見えにくさや、制限のある中で動作を体験しました。また、車いす体験では操作方法を学び、段差などで車椅子を持ち上げて進む際は、介助者の声掛けが無いと、車椅子に乗っている人が驚くことを身をもって経験しました。



歳末たすけあい義援金

今年も新冠ほくと園に贈呈



12月21日、新冠町共同募金委員会（鎌田盛行会長）より、社会福祉法人新冠ほくと園（湯沼博理事長）に義援金11万円が手渡されました。これは、日高建設協会と室蘭建設業協会が日高地方共同募金委員会に義援金を寄附したことに伴い贈られたもので、湯沼理事長は「クリスマス会や正月のイベントに活用させていただきます」と感謝の言葉を述べました。

マイネルグロン号が

中山大障害を制覇



12月23日、中山競馬場で行われた第146回中山大障害（J・GI）において、新冠町字明和の駒ビッグレッドファームで生産されたマイネルグロン号が見事優勝しました。なお、マイネルグロン号はこのレースで2着馬に10馬身差をつけて勝利し、その圧倒的な実績が高く評価され、2023年度JRA賞の最優秀障害馬も受賞しました。

12月

ま ち の
話

題

あ れ こ れ

国際ピアノコンクール 全国大会に2人が出場

シヨパン国際ピアノコンクール in ASIAの国内予選を突破し、全国大会出場を果たした橋本莉央さん（マーガレット幼稚園年長）と若林樹さん（新冠小学校6年）が、12月21日、奥村教育長を表敬訪問しました。奥村教育長に意気込みを語った2人は、1月3日から神奈川県で開催された全国大会に臨み、若林さんは、残念ながら全国大会突破とはなりませんでした。橋本さんが見事金賞を受賞し、1月7日からのアジア大会に進出しました。



字東川の庄野照彦さんが

瑞宝単光章を受章



このたび、字東川の庄野照彦さんが瑞宝単光章を受章し、12月19日、役場会議室で、日高振興局の生田振興局長より勲記と勲章が伝達されました。庄野さんは、昭和49年2月に新冠消防団に入団されてから43年間の永きにわたり、消防団幹部として豊富な知識と経験をもって、地域住民の生命や財産を守る消防活動に尽力されました。

新冠ライオンズクラブが

恵寿荘にクリスマスケーキを寄贈



12月20日、新冠ライオンズクラブ（長浜秋一会長）は、恵寿荘の入所者の皆さんにクリスマスケーキ7箱とタオル175枚を寄贈しました。当クラブは、昭和58年の恵寿荘開設から、毎年この時期にクリスマスプレゼントとして、ケーキなどを寄贈しています。入所者の皆さんは、早速クリスマスケーキをいただき、大変喜んでいました。

巨大ツリー前で ミニコンサート



レ・コード館の巨大クリスマスツリー設置最終日となる12月25日、巨大ツリーの前で教育委員会主催のミニコンサートが開かれました。コンサートには、新冠中学校と静内高校の吹奏楽部が出演し、クリスマスソングを含む楽曲を披露しました。約60名の来場者は、会場に広がるクリスマスマスの雰囲気の中、両校の演奏を楽しんでいました。

高齢者住宅を対象に

照明器具清掃のボランティア



12月27日から、北海道電力ネットワーク（株）の職員が町内の単身高齢者や高齢者夫婦住宅9件を訪問し、日常的に清掃することが難しい照明器具の清掃を行いました。これは、北電ネットワークボランティア活動として行っているもので、訪問を受けた高齢者は「気になっていたので、自分では清掃できなかった。感謝していました。」